

## (1) 既存施設の整備の必要性

生まれ変わっていく沖縄こどもの国の園内のなかで、施設の顔となり、また施設内で目にする割合が高い箇所は、来園者の「ツナガリウム」の世界観への没入を促す大きな要因を担うため、段階的に整備計画へと盛り込み、イメージを一新して改修の効果をさらに高めることを目指す。

## 1) 東ゲート

ゲートの存在がわかりにくく、狭い現況を改善し、わかりやすく、広々とした構えに改修。



※東ゲートの展開例

## 2) 東第二ゲート

東第2駐車場は立体駐車場に整備されると、東第二ゲートからの入場者が格段に増加することが想定される。現在臨時エントランスとしてのみの利用だが、来園者増加に備え、駐車場から視認しやすい構えをしつらえるとともに、インフォメーションや迷子案内所などの便益施設を備えたエントランス施設とする必要がある。



※東第2ゲートの展開例  
(管理用車両の進入ゲート計画が必要)

## 3) チルドレンズセンター



※チルドレンズセンターの外壁の改修例

## 4) エレベーター

エレベーターは、全体の環境に融合し、また象徴的な存在となるよう改修する。夜間には照明のラインアップをおこない、夜空にそびえたつ来園者の道導とする。



※エレベーターの改修例



※エレベーターのライトアップ展開例

## (1) 分散型パビリオンの考え方-1

## 1、沖縄こどもの国のミッション

## ① 日本一ユニークな施設の実現

沖縄こどもの国は動物園を中心とした施設でありながらワンダーミュージアム等を含めて、認知度は高くはありません。動物たちをメインコンテンツとした動物園の枠に捉われない日本一ユニークな施設の実現が求められています。

## ② 年間入園者目標 100 万人強の達成

現在の年間約 40 万人の入園者を、2 倍以上の 100 万人強とし、沖縄市、県中部の観光集客の中核施設となることが求められています。

## 2、既計画におけるガイダンスパビリオンの役割

## ① 基本計画

沖縄こどもの国を象徴するパビリオン。世界観をつなぐ、ゲートウェイとなる施設。「いのちの縦のつながり、いきることの横のつながり」を予感させる展示や演出、「沖縄こどもの国をこんな目線で巡ってみよう」と思わせるようなガイダンスを行ないます。

## ② デザインガイドライン

「人・自然・動物がフラットな関係でつながる」ツナガリウムの理念を表現するデザイン。ガイダンスパビリオンは世界観をつなぐ施設となるため、新たな沖縄こどもの国のシンボルにもなるよう、高いインパクトとメッセージ性のある演出を行い、来園者の期待感を喚起しワクワクさせます。

## 3、ニーズ調査からみるガイダンスパビリオンの機能

## ① 県外、国外観光客が求める施設のインパクト

観光客にとって、沖縄こどもの国が動物園中心の施設であるイメージがしにくいといった意見が多くあります。美ら海水族館のジンベイザメの水槽のようなインパクトのあるシーンをつくり、ビジュアル媒体でイメージを発信することが重要であると考えます。

## ② 地元リピーターが求める施設のホスピタリティ

沖縄こどもの国の来園者のほとんどはリピーターで支えられており、その多くは県内のファミリー層です。ファミリー層のニーズとしては「体験」と「居心地の良さ」が求められています。

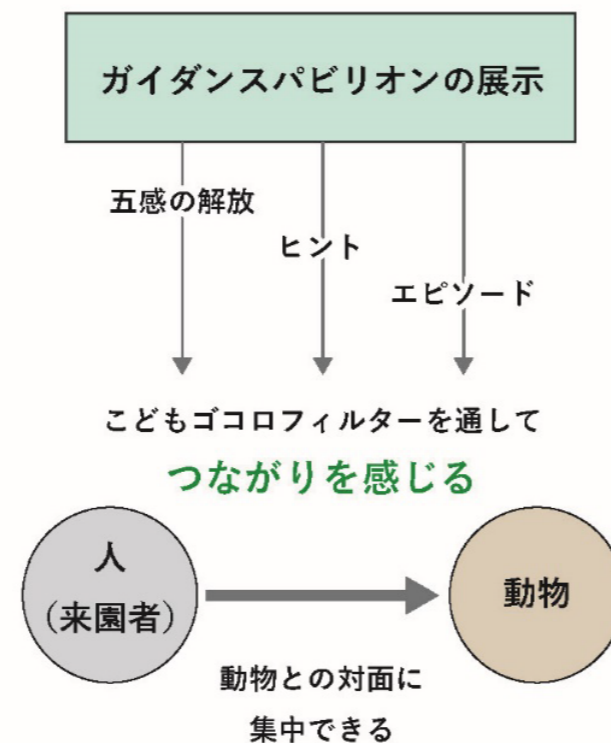
## 4、動物とのコミュニケーションを豊かにするためのパビリオンの役割

## ① パビリオンのコミュニケーションサポート機能

- 動物とのつながり、自然とのつながり、人とのつながりを体感し、動物との出会いを感動的なものにします。
- 動物の見方、接し方のヒントや様々なエピソードを紹介します。

## ② 動物の近くに説明的解説は不要

- 説明的な解説は動物との出会いを学習的なものにしてしまいます。
- 動物たちも自分も同じ生きものであることを感じられるシンプルさが重要と考えます。



## 5、ガイダンスパビリオンの構成

ガイダンスパビリオンは下記の機能等で構成する。

- 展示ホール
- 総合インフォメーション
- サービスセンター
- ショップ
- 飲食施設
- 空中ライドの駅

## 6、マーケティングの視点で考察するパビリオンの役割

## ① 固定・既存客対策

- 沖縄こどもの国の特長であるリピーターの基盤の強さを更に力強いものとするため、固定・既存客からの満足度と要望の高い「体験型」のユニークなコンテンツを展開します。
- ホスピタリティ性の高い演出空間を備えた休憩・滞留機能の設置により、周辺リピーターの積極的な利用を促します。

## ② 観光客・若年層(10～20歳代)

- ターゲットを更に拡充するため、現在はまだ認知度の低い国内外の観光客や若年層への情報発信のための演出を意識した仕掛けや仕組みを構築します。

(1) 分散型パビリオンの考え方-2

7、プロポーザル時からの設計と件変更によるガイダンスパビリオンのガイダンス形態変更

①新たな設計と件

- プロポーザル時の与件である大型の一棟建築はコスト面、スケジュール面から現実的ではない。
- 既存施設の改修利用も難しい。
- 100万人/年の目標入園者数を考えるとエントランス周辺のキャパシティに限界がある。

②新たな設計と件から導かれるガイダンスパビリオンの形態

大きな一棟のパビリオンは、2~3年の工期がかかり部分的なクローズ期間が長くなってしまいます。また、建築及び展示設計にかかるコストも膨大にかかります。これらの理由からガイダンスパビリオンを小さなユニットに分解し、園内に点在させるガイダンスパビリオンを計画します。

【新たな設計と件から導き出したパビリオン形態の方針】

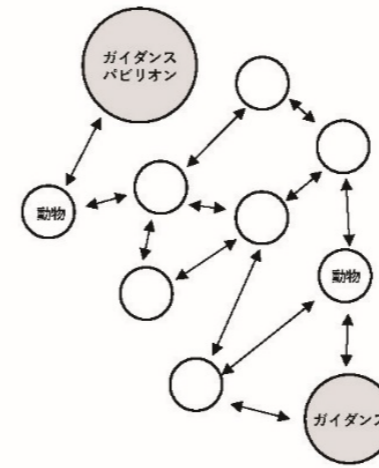
ガイダンス機能を凝縮した小さなユニットを点在させる

③ガイダンス形態の変更

園内の様々な場所にパビリオンを設置することで、より動物に近いところでガイダンスを行います。

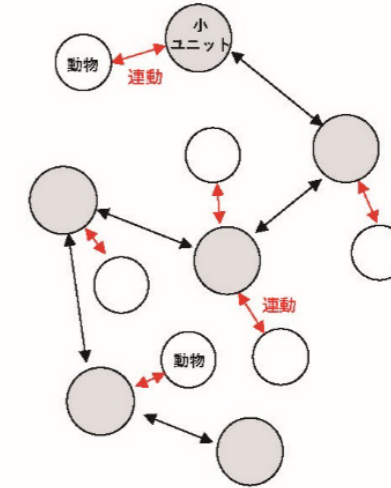
【プロポーザル時のガイダンス形態】

ガイダンス展示を体験 → 動物をめぐる



【新たなガイダンス形態】

動物をめぐる × 小ユニットをめぐる



8、ガイダンス機能を凝縮した小さなユニットを点在させるプランの利点と課題

- 1 建設コスト・スケジュールが分散できる
- 2 拡張性・更新性がある (拡張エリアでも発展可能)
- 3 景観整備のキービジュアルになる
- 4 回遊性の仕掛けになる
- 5 アートイベント的な集客の柱になる
- 7 休憩機能、サイン機能との連携がはかれる
- 8 導線にしばられない
- 9 複雑なランドスケープに対応できる

9、便益機能も備えた小さなユニットの位置づけと名称

①いきもの・人・自然のつながりを感じる

- いのちの縦のツナガリを知る
- いきることの横のツナガリをわかちあう
- 縦のツナガリと横のツナガリの融合と進化

②子どもゴコロフィルターで伝える

- なぜ?を感じさせる
- まねることで感じさせる
- シーンを感じさせる
- 直感的に感じさせる

これらガイドラインに紐づいた感覚的な要素を「ガイダンステーマ」として各ユニットに与え、ユニット全体のフォルムや映像・グラフィック等様々な手法でインパクトをもって展開する。

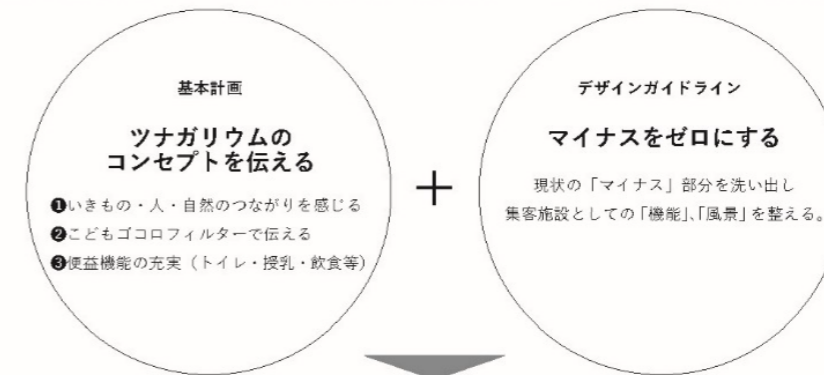
【小ユニットパビリオンの名称案】

沖縄こどもの国の  
小さなパビリオン  
こパビ

10、本業務で実現すべきこと

本業務の目的

本業務は沖縄こどもの国基本計画、デザインガイドラインに記された内容のうち優先順位の最も高いと思われる内容について整備イメージの作成及び基本設計業務である



本業務で実現すべきこと

統一された世界観を実現する便益施設の整備

古くなった既存建造物の再活用を含めて、便益施設の充実化をはかるとともに施設コンセプトを発信し、集客施設としての基盤整備を行うものである

(3) 分散型パビリオン（こパビ）の配置



(2) 分散型パビリオン (こパビ) の展開

① 琉球弧の坂

琉球弧エリアに向かう急こう配の園路の中間に休憩機能を備えたフォトスポットを設置。



※「沖縄こどもの国ガイダンスパビリオン展示演出設計業務」より

② ウェルカムテント周辺

既存の建築を改修・拡張し居心地のよい日陰をつくり、利用可能人数の向上を図る。



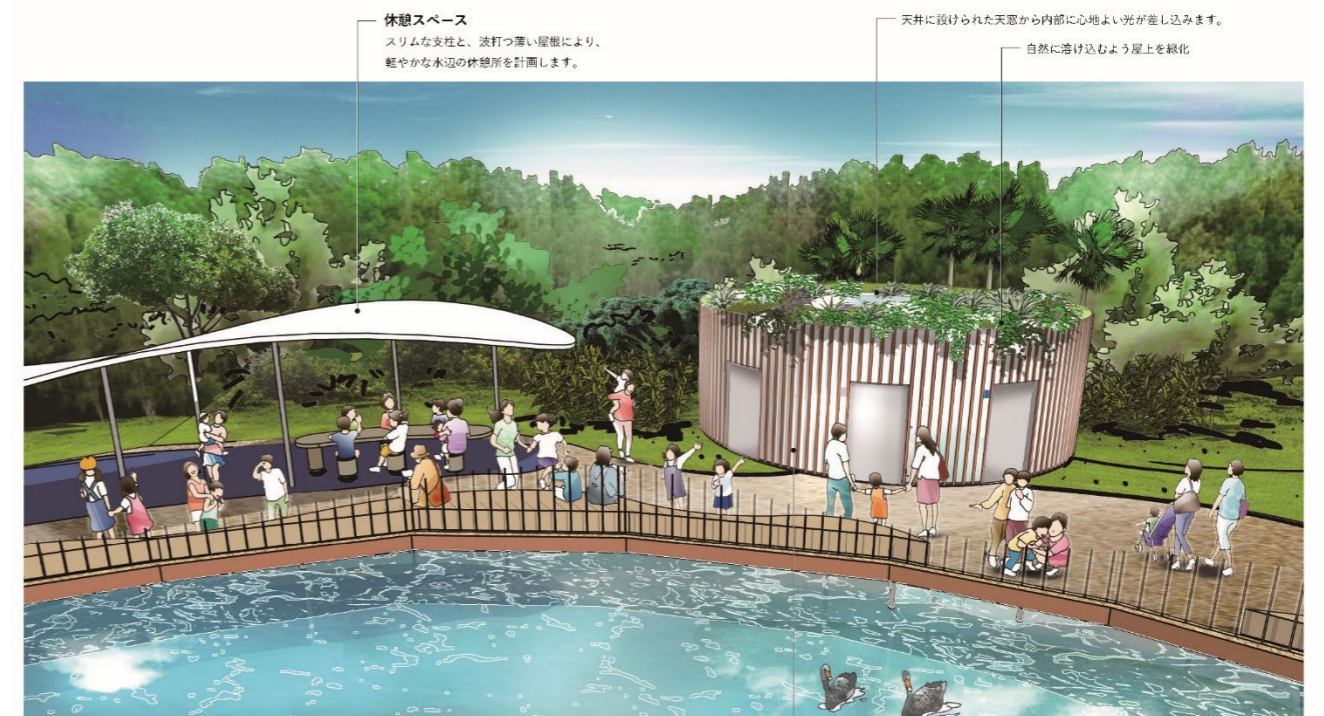
※「沖縄こどもの国ガイダンスパビリオン展示演出設計業務」より

③ 池周辺

緑に囲まれた池の水際を憩いのスペースとして整備。



※「沖縄こどもの国ガイダンスパビリオン展示演出設計業務」より



※「沖縄こどもの国ガイダンスパビリオン展示演出設計業務」より

④ 乗り物コーナー前

トイレ棟と授乳室・プレイルームを含むキッズスペース棟が一体となった、小さな子供、高齢者・身障者に配慮したバリアフリー化された設備を計画。



琉球風エリア内に位置する為、琉球石灰岩で外壁を#

※「沖縄こどもの国ガイダンスパビリオン展示演出設計業務」より



※「沖縄こどもの国ガイダンスパビリオン展示演出設計業務」より

⑤-1 滝・トイレ周辺

既存の滝造形を改修し、躍動的な動物たちが共存する「ツナガリ」を感じさせる造作。ビュースポットのひとつとしても発信。



既存の滝造形を活かし、動物造形を新規に被せませす。

《ツナガリーネ》

ガジュマルの木を模した造作の中に園内にある100体の動物が隠れています。またミスト演出がかかることで、より動物たちの姿が隠れを見つける楽しみを増幅させます。躍動的な動物たちが共存する「ツナガリ」を感じさせる根っこ「ツナガリーネ」を計画します。



※「沖縄こどもの国ガイダンスパビリオン展示演出設計業務」より

⑤ 滝・トイレ周辺-2

水辺のスペースにガジュマルの緑陰と水深の浅い小さな子供も遊べる水遊び場を設け、親子で過ごせる遊び場とする。



※「沖縄こどもの国ガイダンスパビリオン展示演出設計業務」より

水遊び場の近くには、子供向けの足洗い場、簡易シャワーを付帯したトイレを新設。



※「沖縄こどもの国ガイダンスパビリオン展示演出設計業務」より

⑥ ふれあい広場

ライオンフィールドにつながるテーマ型飲食・物販店舗と便益施設を備えた施設を計画。



※「沖縄こどもの国ガイダンスパビリオン展示演出設計業務」より

⑦ 東ゲート浮島

自然にあふれ、生きものが自由に暮らす楽園等を計画。



※「沖縄こどもの国ガイダンスパビリオン展示演出設計業務」より